

第 15 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2016. 1. 21 空田 さやか

協和発酵キリン(株)

選択的 DPP-4 阻害薬『オングリザ』

協和発酵キリン(株) 岡戸さん

場所: コンパス薬局

参加者: 内科 沢先生、内科職員さん、松下さゆり、熊山ともみ、空田さやか

DPP4 阻害薬としては国内で 7 番目に発売され、新薬としての承認時点から「2 型糖尿病」の適応が認められ、併用薬の制限がない初の経口新規血糖降下薬となる「オングリザ」について紹介する。

〈効果・効能〉

2 型糖尿病

〈用法〉

- ・ 食事療法、運動療法を十分に行ったうえで効果が不十分な場合に限り投与
- ・ 1 日 1 回投与
- ・ 通常 5m g だが、腎機能の低下している患者に対しては 2. 5m g に減量可

〈特徴〉

- ・ 基質 DPP-4 との強力な共有結合により、低い濃度で十分効果が得られ、また持続時間も長い
- ・ 薬価が安い (2. 5m g1 錠 : 110. 20 円、5m g1 錠 : 166. 00 円)
- ・ 主に肝代謝
- ・ DPP-4 は腎臓にも多く存在し、活性を阻害することにより腎保護効果があると考えられている (DPP-4 阻害剤共通)
- ・ 血糖コントロール改善に際して体重が増加しにくい (DPP-4 阻害剤共通)

〈副作用〉

低血糖 (SU 剤と併用した場合)

〈考察〉

DPP-4 阻害薬は効果に差異はほとんどないが、①1日の投与回数②代謝経路③薬価④併用薬の可否で差別化をするのが基本となってくる。

以上のことから来局ごとに患者さんのコンプライアンスを確認し、投与回数が患者さんのライフスタイルに合っているか、併用薬に問題はないかを確認していく必要がある。さらに、糖尿病薬は基本的に長期に渡り処方されるが、その間の患者さんの腎機能や肝機能は薬局においても確認していく必要がある。また、SU 剤併用の患者さんに対しては低血糖のリスクが十分にあるので、低血糖症状がないかその都度確認していきたい。